



学校長便り

教育目標 学校や地域に誇りをもつ児童の育成
~くろうをおしまず どりよくして やる気いっぱい まじめな子~

九度山小学校 1月号 NO.1
令和6年1月24日



2024年 辰年 今年もよろしくお祈いします

今年も子どもたちにとって学校生活が充実した日々になりますよう、また、心身共に健やかに成長できますよう職員一同、改善・努力してまいりますので、ご協力・ご支援よろしくお祈いします。

冬休み明け集会で子どもたちに伝えたこと(1)



今年、甲辰（きのえたつ）とも呼ばれ、「甲」は物事の「はじまり」を象徴し、「辰」は万物が成長して動きが盛んになるとされています。2024年は「物事のはじまり」と「大きな成長」の年と言えそうです。これからの成長をさらに形作っていく年でもあるので、努力すれば実りやすくなっていく年ともされています。また、辰年の辰は、神話上の生き物ですが、誰が見ても力強さをもっていて、力あふれるような年になりやすいそうです。



児童のみなさんは、4月からは、新しい学年になります。1月から3月までは80日ほどの短い期間ですが、それぞれの学年のまとめの時期になります。

みなさんの今年の抱負は何でしょうか。

「抱負」とは、国語辞典で調べると、「心の中にもっている考えや計画」とあります。自分が何を目標にするのか、また、目標達成のためにどんなことをがんばりたいのか、考えてみましょう。例えば、「なわとびで二重跳びができるようになりたい。そのためには、毎日15分なわとびの練習をする」など、なりたい自分をイメージし、具体的に何をするのか決め、人に話してみましょう。

「抱負」は心の中にもつものとありましたが、私はそれを言葉で表すことが大切だと思っています。なぜなら、言葉は力になるからです。「言ったからにはがんばろう」と自分を奮い立たせることができます。また、家族やクラスの友達に紹介することで、周りの人が応援してくれます。一緒にがんばってくれる友達がきっといます。丁寧に文字で書き、見えるところに貼っておくと、自分自身への励ましにもなります。

抱負や目標が「努力すれば、実る」よう、九度山小学校の校訓「くろうをおしまず どりよくして やる気いっぱい まじめな子」を大切に、決めたことを続けて取り組みましょう。先生達は、みなさんがなりたい自分に近づく毎日を過ごせるよう、今年も応援しています。

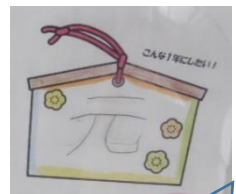


今年の抱負・目標

6年生



5年生



2年生

これからの主な行事予定

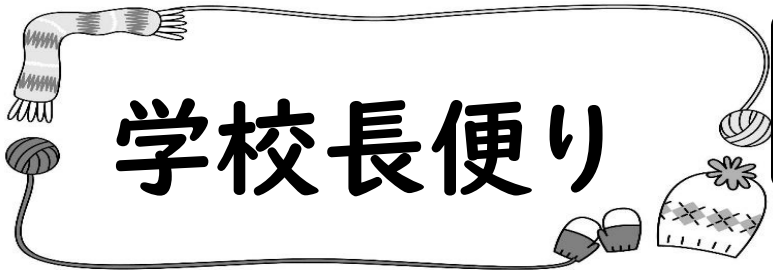
- 2月1日(木) 学校保健安全委員会
 - 2月5日(月) こいのぼり手形(1・6年)
第3回 PTA 企画委員会
 - 2月6日(火) 子ども電気教室(6年)
 - 2月7日(水) 尼子騷兵衛さんと北川央さん
によるキャリア教育出前授業(6年)
 - 2月8日(木) 避難訓練
 - 2月11日(日) 県市町村対抗ジュニア駅伝
 - 2月15日(木) 授業参観・学級懇談会
本部役員抽選
 - 2月27日(火) 6年生を送る会
 - 3月18日(月) 令和5年度卒業証書授与式
 - 3月22日(金) 修了式
- ※予定は、変更になることもあります。

6年生が今年の抱負を考えました。「感謝」「平和」「努力」「勇気」「笑顔」「健康」「運動」「成長」「活力」「元気」「勉強」「友達」「友情」「仲間」「会話」「協力」「時間」 だそうです。

「中学校でも何事でも努力したいから」「いつでも感謝をもって自分の気持ちを素直に伝えられるようになりたいから」「戦争や事件があるので、毎日平和になってほしいから」「中学校に行ってもみんなと仲良くしたいから」など、目標達成に向けて大切にしたいこともしっかり考えていました。

また、他の学年もそれぞれ今年の目標や「こんな1年にしたい」という思いを漢字一文字に表したり、がんばりたいことを言葉で表したりしました。

裏面もご覧ください。



学校長便り

教育目標 学校や地域に誇りをもつ児童の育成
～くろうをおしまず どりよくして やる気いっぱい まじめな子～

九度山小学校 1月号 NO.2
令和6年1月24日



冬休み明け集会で子どもたちに伝えたこと(2)

新年早々、能登半島地震が発生し、津波や火災、家屋の倒壊等で、多くの方々の尊い命が奪われました。亡くなられた方々に哀悼の意を表し、ご遺族や被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

石川県にある志賀町(しかまち)と九度山町は、九度山町の道の駅「柿の郷 くどやま」と志賀町の道の駅「ころ柿の里 しか」とが姉妹駅協定を結んでいます。九度山の特産品の富有柿や平たね柿等の産品を志賀町で販売し、九度山の道の駅で志賀町の特産品であるころ柿(干し柿)や海産物の産品を販売しているそうです。また、毎年「くどやま大収穫祭」にも来てくれているそうです。

現在志賀町の小学校も避難場所になっており、学校を始める準備ができ次第学校を再開するそうです。各学校の子どもたちの中には、家屋が全壊、半壊等多くの被害を受けていて、また、先生たちも同じ状況になっているそうです。九度山町役場や道の駅では募金活動が始まっています。ご協力よろしくをお願いします。

地震はひとつとではなく、いつ自分の身に起きるかわかりません。これからも防災の学習や避難訓練等をしたり、自分や家族を守るために何ができるか考えたりすることが大切です。また、当たり前のように感じている家族との日常や学校生活に感謝してほしいです。

九度山小学校でも児童会のみなさんが募金活動に賛同し挨拶運動で行っています。集まった寄付金やメッセージは、後日志賀町に届ける予定です。



愛のたより(年賀状)

毎年1~4年生の児童が、町内にお住まいの80才以上の一人暮らしの方へ気持ちをこめて年賀状をかいています。ご丁寧に学校にお返事を届けてくれる方もいます。

紹介させていただいた文面のとおり、温かいご飯をお腹いっぱい食べられることや当たり前を感じることが、本当に尊いことだと感じます。他の方もありがとうございます。子どもたちに渡しています。

年賀状ありがとうございました。九十三才になるおばあちゃんです。おばあちゃんの小学校時代は戦争中で、食べるものも着る物も学用品がまんがまん時代の時代でした。運動場でご飯の代わりにさつま芋をつくったんですよ。信じられないでしょう。皆さんは、幸せな今に、思い切り勉強に運動に友達をいっぱい作って、楽しい日々を送ってください。祈っています。

こと・尺八鑑賞・演奏体験(5年生)



日本尺八竹風会・當道音楽会のみなさんに、テレビやラジオで新年よく流れる「春の海」や「こきりこ節」「となりのトトロ」などを演奏していただきました。また、一人一人に「さくらさくら」の演奏の仕方を教えていただき、ありがとうございました。伝統の和楽器の音色が心に響きました。

第16回九度山世界遺産マラソン

豚汁美味しかったです。



「紀の川フルーツライン」をコースに開催され、全校児童が参加しました。12月から体育やチャレンジマラソンとして運動場で練習をしてきました。小雨の中、九度山町内外の児童と競ったり、自分自身と闘ったりしながら、最後まで全力で完走することができました。たくさんの方が入賞しましたが、結果に関係なく、今までの練習の努力がこれからの成長につながることでしょう。

魚の骨を知っておいしく食べよう(5年生)



和歌山県の水産業や魚の骨の仕組みについて学びました。また、骨付きの魚の食べ方も教わり、その日の給食で鮎の塩焼きを食べました。きれいに骨だけ残して、美味しくいただきました。

読み聞かせ(図書委員会)

委員会で各学年に合った絵本や紙芝居を選び一生懸命練習し、朝のさわやかタイムに読み聞かせをしました。みんなに喜んでもらいました。

